

☞明星【白川小だより】☜

HPで『白川小だより』
をご覧ください。
白川小学校で検索を！

令和2年5月 20日発行
第 8号
文責：三谷



『であい、ふれあい、そして未来へ』～自分を発揮し 求め続ける白川っ子の育成～



＜学校再開に向けて・・・段階的の学校再開準備＞ 今日、第1日目



例年とは違うGW（ガマン ウィーク ※本来の意味とは少し違いますが・・・）も終わり、本日から6月1日（月）の再開に向けて段階的の再開準備期間となりました。臨時休校中に小学校周辺でも若い稲の苗がしっかり根を伸ばしています。新緑の鮮やかさは例年通りですが、周りの静けさのおかげで小鳥のさえずりがいっそうにぎやかに聞こえてきました。学校では、新学期は始まったものの10日後から臨時休業に入り、学校行事（運動会、田植え、さつまいも苗つけ等）やPTA行事（総会、奉仕作業等）が延期・中止となりました。教室が、みなさんが来るのをひっそりと待っていました。ただ、天気の良い日は、数名の子どもが運動場で体を動かしたり、図書の本出しに来ている姿を見かけました。

児童のみなさんはこの期間をどのように過ごしていたでしょうか？本来の長期休業であれば、サマースクールや管理外プールなどに参加したり、お家の人と旅行や親しい友だちと出会う機会があったり、宿題以外にも自分たちの時間をどのように使うか、楽しい計画を立てているところではないでしょうか。しかし、今回の長期にわたる休業は、外出を控え、羽を伸ばすことができないという制約の中で過ごさなければなりません。すでに配付された課題やこれからの学習などを進めていかなければならないものがあります。5日間（半日）という登校日ではありますが生活のリズムを徐々に戻してほしいと思います。もちろん、頭だけでなく体を動かすことも忘れないようにしてください。そして何より、生活の乱れがウイルスにつけ込むスキを与えます。十分な睡眠、規則正しい生活習慣を守り、手洗いうがいなど基本的な予防対策を忘れないように、健康管理にはくれぐれも気をつけて過ごしてください。



以前からお知らせしていますが、少しでも人と人との交わる機会を減らすことが感染拡大防止のための最も効果的な策であるということが言われています。感染のリスクを減らすためにも、できるだけ自宅待機をして人との接触の機会を減らすことを心がけるよう、ご家庭でも言葉がけをよろしくお願いします。離すのは距離だけで、気持ちは離れないようにしてください。

また、自宅待機期間が長引いた中で、子どもたちのストレスもたまっていることと思います。ご家庭内でのトラブルも含め、何かお困りごとがあれば、いつでも学校(82-3007)に連絡をしてください。引き続き日常の感染予防にこころがけ、6月1日（月）からの学校再開時にみんなが元気に登校してくることを楽しみにしています。

＜2020(令和 2)年度 学校経営方針＞

5月14日（木）に本年度第1回白川小学校学校運営協議会がおこなわれました。本校では下記のことを目指して、学校経営を進めていきたいと考えています。さらには、こうしためざす姿の実現に向け、学校運営協議会の場において協議し取り組んでいきたい重点目標を下記のように設定しています。目標が5点で、その目標毎に、3～7の具体的な行動計画を設定しています。本年度末には、これらの目標について皆様からのご意見・ご感想等もいただければと考えています。

保護者・地域の皆様には、今後とも色々な面で、ご支援・ご協力をいただくこともあろうかと思えます。お気づきの点などありましたら、学校までご意見を頂ければと思います。

【学校教育目標】

『であい、ふれあい、そして未来へ』～自分を発揮し 求め続ける白川っ子の育成～

【めざす学校像】

『一人ひとりの子どもが輝く学校』



【めざす子ども像】

【めざす教職員像】

- 思いやりのある子
- 自分を発揮できる子
- 自分の思いを追い求める子
- 対話をとおして人とつながる子
- 新しい時代に対応していける子

- 一人ひとりの子どもの持つよさを見つけ、認め、引き出すことができる職員
- 新たな時代の到来に対応し、教育を切り拓いていく教員
- 保護者や地域との連携を大切にする職員
- 心身の健康に気を配り、助け合って、働きやすい環境作りのための改革ができる職員

○重点目標及び行動計画

【1】全ての子どもに基礎的な知識・技能を身につけさせ、主体的に学ぶ姿勢を育む。

- ①めあてを知り、見通しをもって学習し、友だちと話し合う中で学習を深める姿勢を育む。
- ②書く活動を重視して、ふりかえりを大切に、次への学びを追究する姿勢を育む。
- ③「学習の手引き」をもとに学習準備を確実にし、学習規律の徹底を図る。
- ④学校図書館の利用など、読書活動を充実させる。
- ⑤「家庭学習の手引き」をもとに保護者と協働して、家庭学習の徹底を図る。
- ⑥英語を話したり、ICTを積極的に活用したりする授業の充実を図る



【2】子どもに、知識・技能を活用し、自ら考え、判断し、表現する力をつけさせる。

- ①子どもたちの実態を把握し、学習指導に活かす。
- ②主体的・対話的・深い学びのある授業に努める。
- ③追究する学びをつくり出すために、研修テーマにそった授業改善を進める。



【3】共に生きる大切さがわかる子を育て、豊かな人間性を養う。

- ①対話をとおして、主体的に人とかかわる子を育てる。
- ②体験学習・児童集会等で、子どもの創意を引き出し、達成感が味わえる活動を行う。
- ③特別な教科道徳やすみがくタイム等で、心を揺さぶる活動場面やなかまとの関わりを高め合う場面を設定する。
- ④Q-U、なかまづくり、いじめ、体罰等アンケートを実施し、全体で交流し検証して指導にいかす。
- ⑤食育、保健指導等を通して、児童の健康安全の意識を高める。
- ⑥体力テストの検証や、体力向上外部講師等の活用を通して、児童の体力向上に努める。
- ⑦豊かな自然・伝統ある校舎を大切に、学校環境を整備し、落ち着いて学べるよう努める。



【4】保護者・地域等との連携を大切にしながら、生きる力の基礎を育む。

- ①コミュニティスクールを通して保護者・地域・学校の連携を深める。
- ②学校の取り組みや子どもの様子を保護者、地域の方に発信する。
- ③保護者や地域の方々の学校行事への参加を促し、学校経営の改善につなげる。

【5】子どもが輝くために、教職員がやりがいを持ち一丸となって教育に取り組み、業務の効率化を進め、自らの力量向上に努める。

- ①教職員満足度調査を実施し、その検証から改善活動に努める。
- ②校内衛生委員会を中心に、働きやすい職場作りに努める。
- ③ワーク・ライフバランスを大切にす。(※1)Q-Uアンケート…学級づくりのためのアンケートのこと。

=白川小コラム= 考えてみよう！！

学校だより第4号(4/27 発行)の続きの問いかけです。今回は推理問題の頭の体操です。学校再開時に教えてもらえることを待っています。校長室前にも掲示してありますので休み時間にも考えてみてください。

【Question7】 part1

9枚(まい)の金貨(きんか)があります。このうち1枚(まい)が偽物(にせもの)で、偽物(にせもの)は本物(ほんもの)よりも軽い(かるい)とわかっています。

天秤(てんびん)で重さ(おもさ)をはかって偽物(にせもの)を見つける(みつ)ける場合(ばあい)、最低(さいてい)何回(なんかい)はかればよいですか。



【Question8】 part2

太郎(たろう)さん、次郎(じろう)さん、三郎(さぶろう)さんの3人(にん)は、リンゴ、ミカン、バナナのどれかを持って(もって)います。3人(にん)とも違う(ちがう)果物(くだもの)を持って(もって)いて、それぞれが次(つぎ)のように言(い)っています。

誰(だれ)がどの果物(くだもの)を持って(もって)いるでしょうか。

ただし、1人(ひとり)だけ正(ただ)しくないことを言(い)っています。

○太郎(たろう)さん

「私(わたし)はリンゴを持って(もって)います」

○次郎(じろう)さん

「私(わたし)はミカンを持って(もって)います」

○三郎(さぶろう)さん

「私(わたし)はリンゴを持って(もって)いません」

